マルテメオとは? マルテメオはどのように親である皆さん、もしくは保育関係者の方々をサポートできるのでしょうか?

最初に簡単な質問です: 皆さんは、お子さんがどのような将来を過ごせるようにと願いますか?

お子さんが健康でいることでしょうか? それとも学校でいい成績を取ること? 長い生涯を満足して過ごせること? 好きな仕事をする事? もしくは心許せる友人や家族が周りにいることでしょうか?

皆さん、日常でそれぞれ感じられることは様々あると思いますが、時々不安や戸惑われたりすることはありますか? もしくは、時々ご自身の親としての能力、もしくは保育に関わるプロフェッショナルな実力や、お子さんの発達に対して疑問視されることはありますでしょうか?

どの子も一人一人違います。そして私たち大人も毎日最善のコンディションではないですよね?
「人は皆、金山を持ち備えている」とマルテメオの創立者マリア　アーツは言います。ここでいう金山とはポテンシャルのことです。
今こそ、みんながより軽やかに生活を送るために、私たちや私たちの子どもの金山を発掘する時です。

金山を発掘することによって私たちは自然と子ども達をサポートすることができ、子ども達は適切なサポートを得ることによって彼らにとって必要な能力を開花することが出来ます。それにより私たちは安心して子ども達を見守り、世に送り出すことができます。

専門家の人達が好んで使う専門用語があります。例えば自己効力感、レジリエンス、想像力、集中力など、、、。

世界中５０か国で使用され科学的にもエビデンスのあるマルテメオは、上記に挙げた能力を上げる効果があります。しかし、マルテメオとはなんでしょうか? どのように進めていくのでしょうか?

marte-meo®

家での日常、保育園、幼稚園、もしくは学校での短いシチュエーションをビデオに収めていただきます。そのビデオを、マルテメオのトレーニングを受けたカウンセラーがビデオを分析します。

親御さんもしくは保育現場で働かれている先生や学校の先生は、分析したビデオから切り取った映像を基に、何が今後のお子さんの発達を促すことに役立つかを学ぶことができます。時として私たちは、日常の中でお子さんの発達を促す行動を、知らず知らずのうちにしているものです。マルテメオカウンセリングを通して、お子さんの発達をより促すために、みなさんが既にしている言動をどの瞬間に、そして何故するべきなのかを学ぶことができます。

マルテメオセラピストは、誰でも理解しやすいように映像を使い、そして簡単で具体的な言葉を使うように努めています。「１０００の言葉よりもたった一つの映像の方が伝わる」というように、、、誰でも理解ができ、日常の中で意図的に、そしていつしか自然と用いれるようになることがマルテメオの目標です。

お子さんが既にどのような能力を持っているのか、そしてそれに加えてお子さんの発達が自然に促されるためには何が必要かを、ビデオ映像を基にカウンセリングを進めていきます。
どのような発達をサポートしていくかという具体的な例を挙げると、

- 何に興味を持っているのか、どのように感じるかを徐々に言葉にして表現すること
- 憤りや不満感、絶望感などの不愉快な感情と、どう向き合っていくべきか
- 嬉しい、楽しいなどといった心地の良い感情を他の人たちにシェアする素敵さ
- ご家庭や保育園、学校などでいつ大人の言うことを聞かなければいけないか、制限（社会的ルール）を尊重するべきか見極めること
- 自立する事
- 自分1人で遊んだり、お片付けなどが出来る事
- お友達や周りにいる人たちと何かを一緒にしたり、彼らと仲良くすることが出来る事（兄弟同士でも）
- 将来満足のいく生活が送れるように、一歩一歩小さなステップで前進していく事

どの発達ステージにいる子も、お母さんお父さん、おじいちゃんおばあちゃん、もしくは兄弟や保育園の先生、学校の先生など、一歩一歩その子その子のテンポで自然に発達していけるようなサポートをしてくれる人が必要です。子どもの金山を発見して、その金山を的確に発掘し光り輝くように誘導してくれる人が必要なのです。大切なことは、そのサポートする人たち自身が子どもの金山のみではなく、自分自身の金山も発掘することが出来、日常の中でその金山を輝かせることが出来るということです。

私たちがストレスとどう向き合うかをより良く学ぶ事で、子ども達は私たちからそれを学ぶことができます。つまり、私たちは「子ども達のお手本」になるということです。

子どもをサポートするだけではなく、私たち大人も自分自身の金山を発掘し、光り輝かせる。それがマルテメオ。なぜならばマルテメオの意味はラテン語で「自分の力で何かをなしとげる」という意味を持つから、、、。

より詳しい情報はこちらにお問い合わせください。

© www.virginie-puschmann.de 2022